



1月17日付
申14号

またしても発生！現場で苦勞する社員の声に答えるべき！！

架線凍結に起因する輸送障害の防止に関する申し入れ

新潟地本は12月9日信越本線、越後線において発生した架線凍結に起因する輸送障害について早急な対策を求め12月10日申11号を会社に提出しました。

しかし、今月に入ってから2日と11日に信越本線1321Mが架線凍結による大幅な列車遅延が発生しました。多くのお客さまが利用される年始輸送、3連休の初日に発生させてしまったことはお客さまや地域社会からの信頼を大きく失う危険性もあり、現実対応した社員には厳しいお叱りを頂いています。

これまでも新潟地本は架線凍結対策について塗油以外の対策として信越本線柏崎～長岡駅間に始発列車前のカッター代行の運行を要求してきました。しかし会社は問題性は認識しているとしているものの現行どおりの取扱いとの回答でした。今冬期において複数回発生していることから早期の団体交渉開催を求め、万全な対策を構築するため申14号を会社に提出しました。

■ 申14号 申し入れ項目 ■

1. 信越線長岡～柏崎間の架線凍結対策を講じると共に、初列車の前にカッター代行を運行すること。
2. 架線凍結に起因する輸送障害を複数回発生させたことに対する考えを明らかにすること

万全な体制を東日本ユニオンに加入して構築しよう